

friendship force

Newsletter



今年の夏の暑さは異常と言われながらも FF 愛知のプログラムは滞りなく進められている。 8月1~2日は夏の親睦旅行があり、24名の参加者が元気に集合し、森の中でのバレエ鑑賞と会員の交流を深めた。このイベントの企画、運営にあたった会長と担当者に参加者全員が感謝!

引き続き9月からはオランダ渡航9月21日~30日、スイスから初めての受入10月3日~8日、ワシントン世界大会とデトロイトのホームステイ10月16日~22日が予定されている。スイスからのアンバサダーの紹介にはドイツ語、フランス語、英語、等3カ国語を話すと書かれている。永世中立国と言われ、日本人のあこがれの国である。その国と人々を知る良い機会である。積極的にプログラムに参加し、そして共に楽しみましょう!

中部ブロック会議に出席して



6月19日京都国際交流会館で行われた中部ブロック会議に出席しました。今年は、大阪クラブと京都福知山クラブの共催で、出席者も 49 名という大きな会合でした。

当クラブからは、加藤会長ほか鷹野さん、西村さんの女性3名と橋本さん、私の男性2名が出席しました。

議題は、"受け入れクラブが複数の場合の問題点、他クラブとの合同渡航をどう思うか、ED の育成、会員間の親睦にどう取り組んでいるか"の4点でした。個々の討議内容については、議事録も配布されていますのでそちらを参照していただきたいと思います。

端折って言えば、前2つは、いずれにしろどちらのクラブがリーダーシップをとってあたるかの問題で、これさえハッキリさせれば問題ないというのが大方の意見でした。2番目と3番目は、いずれのクラブというより、FF全体の課題でもあり、どこのクラブも工夫しながら努力されている

富岡 達也

ことが分かりました。理想的には、会員間の交流を深めつつ ED の育成につながればベストなわけで、地道にやる以外に良い方法はないということでしょう。大上段にかまえるのではなく、小さな輪を幾つもつくり、その輪を結びつけて行くようなやりかたも必要かと思います。

会議でひとつ話題になったことがありました。 会員が個人として他クラブないしFFIの行事に参 画する場合、共通認識として少なくとも所属クラ ブの了解のもとに行うべきということです。難し い話ではないのでお互い気をつけましょう。

会議のあとは、京都の湯豆腐料理をつつきながら懇親を深めました。

用事のため先に帰られた鷹野さん以外の4人は、 嵯峨野に一泊したので界隈を散策することにしました。ここまできたら保津峡下りだねと相談一 決、トロッコ乗場に行ったところ増水で中止、がっかりしたがとりあえずトロッコに乗りました。 沿線の景観は、なかなか良く、雨に打たれた後の 緑はまことにきれいでした。楓の木が多く、川の流れ、岩肌を背景にした秋の景色はさぞや素晴らしいと思います。訪れた大河内伝次郎の別荘もなかなかのものでした。また私にとってみれば、嵐山を約50年ぶりに歩き、修学旅行時の光景が思いうかび懐かしいひと時を味わうことができました。

FF 愛知 夏 の 親睦会



清里高原親睦旅行 企画担当 白木裕己

8月に入り、日本全国では数多くの人たちが猛暑にも負けず、海や山に出かけています。今回、FF 愛知の会員の皆さんと清里にある萌木の村へ行き、毎年開催、公演されているバレエ鑑賞をしました。屋外での幻想的な雰囲気の中での公演は、初めての方も幾度も観られた方も観る人によって感激を新たにされたことでしょう。ただ、当日の自然は私たちに悪さをし、雨天になりましたが、公演スタッフの皆さんの開演にかける熱意で少

雨の中開催されました。

清里は海抜 1,200m の位置にあり、朝夕は 18~19 度と大変涼しいところです。山梨県は高原野菜や果物が豊富に収穫され、特に夏の期間の桃の生産は日本一を誇っています。また、この一帯はそばの生産が盛んで、有名なそば屋さんも多く、今回は富士見町乙事の「おっこと亭」の歯ごたえのあるそばを頂きました。

帰路は伊那路を結ぶ 4,470m の権兵衛トンネル を抜け、奈良井宿に行きました。奈良井宿は江戸

中期から大正時代の古い 町並みで、木曽路一番の にぎわいの宿場町と言わ れただけあって大変整備 されていました。約1km の街道には、当時を偲ば せる建物が両側にあり、



機会があればもう一度訪れたいところです。

今回の親睦旅行はわいわい、がやがやと楽しく 会員の親睦が図られました。

次回もまた、多くの方々の参加を得て、FF 愛知のより深い交流の場にしていきましょう。







清里高原での親睦会 ケータンみ代

8月1日猛暑の中、24名のメンバーは涼を求めて八ヶ岳高原・清里へ一泊の旅に出かけた。

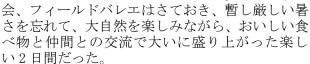
宿泊先はメルヘンチックな佇まいのペンション。4人部屋に割り当てられワイワイ、ガヤガヤ。

昔懐かしい修学旅行の気分だった。 近くの温泉で疲れを取り、夕食は、 お洒落で上品なコース料理を楽 しんだ。夜は、楽しみにしていた フィールドバレエ鑑賞。演目は" シンデレラ"。

ところが不運にも、開演直前になって小雨が降りだした。降ったり止んだりする中、舞台裏方さんの床拭きで中断しつつの公演となり、結局は全幕を観ることがで

きなかった。とても残念だったが、バレリーナに とって脚は命。雨で濡れた舞台で踊るのは危険な ので、やむを得ない。落ちてくる雨を、ただただ 恨めしく思いながら会場を後にした。しかし、初 めて目にしたフィールドバレエ。自然の森を背景 に、夜空をも取り込んだ幻想かつ神秘的な舞台は、 バレリーナの魅力を一層引き立て、短時間ではあ ったが、観客をロマンチックな雰囲気へと誘った。 今年で 21 回目だそうだが、その人気が持続して いることにも頷けた。機会があれば、もう一度観 てみたい。今度は星空の下で・・・。

帰路では、長野県塩尻市の「中山道・奈良井宿」 に立ち寄った。江戸時代に賑わった宿場町で、現



このツアーを企画・手配してくださった会長、 並びに道中のお世話をしてくださった方々に、心 からお礼を申し上げます



秋の活動:受入・渡航・ワシントン世界大会

受入交換 スイスの新しいクラブ Solothurn Club 10月3日~8日

Solothurn club [ゾロトゥルン]は 2009 年にスイスで初めて設立された会員数 24名のクラブです。ほとんどは小学生や 10代の子供のいるファミリーで構成されている若々しいクラブです。 今回は子供を含めた 5家族の会員 13名が日本を訪問します。楽しい交換になりそうです。





ジュラ山麓でアーレ河畔に位置するソロトゥルン州の州都。ローマ時代に遡る歴史を誇り、中世には自由都市として発展しました。面白いのは、教会や噴水、塔の数、大聖堂の祭壇や鐘、正面階段の数が全て11で、州も11番目にスイス連邦に加盟。聖なる数字11の町といわれています。

Solothurn Club のアンバサダーとホスト紹介

1.	HAEFELI Kurt (M 60) DIEMAND HAEFELI Christine(F52) HAEFELI Serafina (F18)	鷹野 鷹野 西村
2.	FREY Lorenz (M54) ANDEREGG FREY Regine (F54) FREY Charlotte (F17) FREY Silvan (M14)	土居 土居 土居 土居
3.	FREI Marcel (M52) FREI Judith (F44) FREI Rahel (F17)	安藤 安藤

渡航 オランダ 9月21日~10月1日

5. FREY MICHEL Peter (M59)

FREY MICHEL Ruth (F55)

4. BORN Regine (F63)



Solothurn, Switzerland

Solothurn is alive – in colorful markets, festivals and street culture. In the city of Solothurn live 15'000 people, but in the region there are about 50'000 people. Many people work in the industrial sector (medical technology, watches or car suppliers) or in the service sector. Switzerland has an efficient system of public transportation. The capitol Berne is only half an hour from Solothurn, Zurich and Basel one hour, and Geneva and the Alps two hours.

:資料提供 ED Kurt さん

参加者:加藤紀子[ED] 青山暢子[AED]小田さえ子 大矢道子 加藤孝子 小竹和子 杉江悦子 橋本忠幸 橋本雅子 堀 夏江 冨岡達也 富岡ひろみ 富岡正男 山口晴久

堀

大津

大津

ワシントン世界大会とホームステイ 10 月 16 日〜22 日

世界大会: Renaissance Washington DC Hotel・デトロイトクラブにホームステイ [参加者 8 名]

会員のページ

FF 愛知とセントレア

塩谷増夫

[FF と私]

FFは私にとって3番目の国際交流ボランティアです。最初のボランティアは「国際ボランティアポレポレ」二つ目は「日本バングラデシュ友好協力会(JBCS)」です。3番目のFFはFF東海の頃、19年ほど前からの会員です。当時のホームステイは自分でしないとホストはまったく面倒をみてくれませんでした。私も家の鍵を渡され1日好きなようにしなさいと言ってホストは仕事に出かけてしまった事がありました。ホスト先によってまったく違ったホームステイを体験し、その違いを聞くのも楽しみのひとつでした。最近はその街や人を知るためというより観光旅行の宿といった感があるように思います。びっくりし思わぬことに遭遇するのがFFの楽しさだとおもいます。

[セントレア]



あといんとはまが飛なは世帯といんとはもといんとはも時に思んでかっていた。開ルト

案内ボランティアをしています。私は職業が機械 設計で設計図を書いています。飛行機が飛ぶのは 色々な条件が重なってやっと飛ぶのですが、その 条件がくずれると飛べません。飛んでいるものは 必ず落ちます。海に浮かんでいる船も必ず沈みま す。私に言わせれば飛行機が飛ぶのは神がかり的 です。それだからこそ離陸や着陸の時見ている人 も乗っている人もなんとなく感動的なのかもし れません。



セントレアが開港したのは2005年2月17日です。愛知万博のほぼ1ヶ月前でした。空港島は2000年8月に着工、名古屋ドーム53杯分の土で埋め立て、

広さは東京ディズニーランドの 7 倍、南北 4km 東西 2km、周囲 12km です。

24 時間使用できる空 港で、滑走路は 3500m、幅 60m でジャンボ機が 人、荷物、燃料をいっぱ い積んでも飛び立つこ とが出来ます。管制塔は



86.75mで日本では2番目に高く国土交通省大阪航空局が建設、管理しています。燃料タンクは5基(6.000kl/1基)ジャンボジェット150機分保管可能。ジャンボジェットはドラム缶1,000本分の燃料を入れることが出来、1分でドラム缶1本を消費します。機内食工場は1日15,000食、200種類以上のメニュがあります。エネルギーセンターはターミナルビルで使う電気を発電しています。熱を利用し、冷暖房や湯を沸かしたりして1年間でドラム缶15,000本の原油に相当するエネルギーを節約しています。その他に天然ガスステーション、水素ステーション、空港警察署、貨物施設、大型物流施設、ホテル(東横イン、コンフォートホテル、セントレアホテル)、港、立体駐車場(5,800台)、レーダ施設、無線施設、公園な

どがあります。最後に ターミナルビルにつ いて説明します。まず 立体駐車場の屋上か らアクセスプラザに 入ります。ここはすべ



ての交通機関が集約されています。右側に名鉄の 改札口があります。ゆるいスロープを上に行くと 出発ロビー(3F)、下に行くと到着ロビー(2F) です。3 階から 4 階に行きそのまま真っ直ぐ外に 出るとスカイデッキです。長さ 315m、幅 37m で 先端では飛行機がよく見え、船もよく見えます。

セントレアは環境や人に配慮したやさしい街です。そして働いている人も「顧客満足世界 No.1 空港」をめざしお客様に接しています。今度セントレアに行ったらボランティアに話し掛けてください。

会員のページ

Bristol Club ED の Bob さんと交換前の楽しい交流 橋本忠幸



来年イの Bristol かられり け入まり そのED

に経験のない私が要請されました。不安ながらも引き受け、BristolのEDのBobさんとメールの交換を始めました。その折、「今年の夏ゴルフ旅行でEnglandとWalesへ行きます」とメールを打つと、Bobさんから「是非会いたい」と返事が来ました。そこで、私はメールで4つの会う方法(私

ニュージーランドから Anne Scott さんの来訪

この異常に暑い最中、真冬のニュージーランドから FF の古い友人がやって来ました。彼女の名は Anne Scott、当年 85歳の老婦人、1994 交換時のアンバサダーです。ご主人は一昨年血行障害で両足を切断、車椅子生活の為、残念にも来日できませんでした。NZ には介護休暇という制度があるらしく、それを利用し娘、孫と3人で来ました。富士登山に向かった娘、孫とは別に、彼女は加藤会長宅で、当時の ED だった鷹野さんを含む FF 愛知のメンバー数人と懇親を楽しむことができ、

ルート 66 と加藤精重さん



た。サンタモニカビーチにある会員の家でパーティーが催され、その席上で突然会長から「Mr. Kato はどうしているか?」と聞かれました。私の敬愛する加藤八郎さんのことだと思い、「元気に FF Aichi のために働いていますよ」と答えたら「彼は Route 66 にとても興味を持っている、是非連れて行きたい。彼はジャズが好きな great

たちはBathで泊まる予定だったのでそのホテルへ来てもらう等)を提案しました。すると返事がきました。「5つ目の提案をする。私の家に来なさい。大丈夫、4人泊まれる」

こんな経緯でBob さんの家に泊まりました。 古い農家を改造した、大きく素敵な家でした。 友達は「イギリスの家庭に泊めてもらい、ゴルフ 旅行だけでない貴重な経験ができ楽しかった。」 お礼のメールを出すと、Bob さんからうれしい返 事が来ました。「他所で会うより、家で食事も出 来、楽しい貴方の友達と素晴らしい時を過ごせ た。」

富岡達也

大層喜んでいま した。

セントレアのゲートを出る際、何度も振返り、涙を 拭きながら娘さ



んに肩を抱かれて行った姿には思わずジンときました。互いに健康が続く限り、この友情を大切にせねばと改めて思いました。

鷹野晴子

musician だ。」加藤八郎さんは My way や White Christmas 等とても上手に歌われる、英語だけでなく音楽もやっていられるのだと思いはじめた時「しかし彼はなかなかアメリカに来れない、忙しいポリティシャンだから」と言われ、FF Aichiには別の加藤さんもいることに気付きました。Mr. Kato とは加藤紀子さんのご主人、加藤精重さんでした。今はポリティシャンではなくミミズの研究家(バイオ?)です。お互いの趣味を通してごく自然に良い交流をされていたことが分かりました。彼のためにジャズ演奏もされたようです。FF Aichiには私達の知らないところで良い交流を育んでいられる方々がいるのですね。

註: Route 66 はロサンゼルスのサンタモニカとシカゴを結 ぶ国道 66 号線で多くのアーティストに愛されてきた。

事務局からのお知らせ

Solothurn 交換プログラム

ED: 谷川智恵子

10/3(日) アンバサダー到着

<u>ウエルカム</u> <u>ランチ</u> 10:10~12:30 担当:佐藤美知子

場所:東海市しあわせ村内レストラン 茶室:抹茶

会費:2,000円

名古屋城見学 集合:名古屋城正門 13:10 担当:山田晴久 沢井由美子 10/4(月) バスツアー 伊勢[アンバサダーのみ] 担当:竹内節子 稲葉千賀子 10/5(火) 愛知企業見学 トヨタ工場 担当:堀 夏江 竹中ふみ代

10/6(水) フリー

10/7(木) フェアウエル パーティー 担当:加藤孝子 佐藤美知子

会場 新舞子シーサイドガーデン海陽館

名鉄常滑線 新舞子下車

時間 11:30~13:30 会費 4,000円

* 送迎係・ディナー ホスト募集

<u>受入交換の交流と活動について</u>

FF 愛知役員会

受入交換では ED、ホストをはじめ送迎、デイホスト、バス旅行の担当、その他のプログラム担 当等、多くのボランティアの働きでいつも良い交換が行われてきました。

FF 愛知ではなるべく多くの会員に交流を楽しんで頂きたいと願っております。

交流にはいろいろな方法があります。まずデイホスト、ディナーホストなどに挑戦してください。 デイホストが 1 人では無理であれば 2 人、3 人、あるいは近隣の会員と組んでアンバサダーを連れ て 1 日どこかへ行く、数人でディナーホストを企画することも出来ます。 その場合、必ず責任者 を決めてアンバサダー、ホスト、EDに了解をとることが必要です。スイス交換では4人の家族、3 人の家族等を一人のホストでお世話する会員の努力も想像して、皆さんの小さな協力があればお互 いに良い交換になることでしょう。一つの交換にデイホストが 20 名以上いるクラブもあります。 多くの会員がアンバサダーと積極的に交流を楽しむことが出来たら良いですね。

2011 年の交換

[受入れ]

Bristol, UK 2011年4月 ED: 橋本忠幸

Tuxtla Gutierrez, Chiapas, Mexico 2011 年 11 月 (ED を募集しています)

Manchester, UK & Norderstedt, Germany (ED を募集しています)

名簿配布について

先日、お知らせしましたように、皆さまのご要望があり ましたので名簿の配布をいたします。個人情報ですので 名簿の管理をよろしくお願いいたします。

新入会員紹介

半田市在住 杉江 悦子さん 紹介者:加藤 紀子

岡田 惠美子さん 鈴鹿市在住

会員の皆様へ

ニューズレターのメール配信を希望される方はお知らせ下さい。また、感想、ご要望をお寄せ下さい。 ニューズレター制作担当:鷹野晴子 htkn@ma.medias.ne.jp

編集・発行:FF 愛知 事務局:〒478-0001 愛知県知多市八幡字笹廻間 12-199

Tel. & Fax. 0562-34-0890 西村 貴美子